



〈特集〉

梅雨を前に! 大雨に備えよう

問 防災課 ☎ 内線 1681~1684

今年ももうすぐ梅雨を迎えます。大雨や長雨などによる災害が発生するシーズンです。台風や集中豪雨により、下水道や側溝等が排水しきれない雨量を記録した場合、内水氾濫が起こってしまう可能性もあります。被害を最小限に抑えるためには、普段からの備えが大切です。

今号では、水害に関する主な対策や避難基準、災害情報の入手先等をご紹介します。市民の皆さんにも、家庭でできる取り組みや情報収集などにより、水害被害軽減への協力をお願いします。



今すぐはじめよう

各家庭でできることは事前に対策しておきましょう

家族で話し合う

- ☑ 家族一人ひとりの災害発生時の役割を決める(高齢者や乳幼児などがある場合の対応など)
- ☑ お住まいの行政区の第1次避難場所(指定緊急避難場所)・第2次避難場所(指定避難所)や、避難所までの経路を確認しておく
 - ・家族の集合場所を決めておく
 - ・事前に下見をしておく
- ☑ 家族が離ればなれになったときの連絡方法を確認する
 - ・災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確認する
 ※遠方の親せきや知人を介して連絡をとる方法もあります



日ごろの備え

- ☑ 牛久市の「土砂災害警戒区域」や自宅付近が浸水しやすい場所かどうかなどを事前に調べておく
- ☑ 水、食料など「非常用持出品」を備えておく(家族にとって必要なものが揃っているか確認しておく)
- ☑ 大雨や風が強くなる前に、家の外の備えをする
 - ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する
 - ・風で飛ばされそうなものは固定したり、家の中へ格納する
 - ・家の周囲の側溝や排水溝は掃除して水はけを良くしておく



＼ 備蓄をするなら /

ローリングストック法

普段から少し多めに食材、加工品(缶詰、カップ麺、菓子類他)を買っておき、使った分だけ新しく買い足していくことで常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。



大雨の予報がでたら

気象情報の収集や避難の準備を始めましょう

最新の災害情報を入力

テレビ、ラジオ、インターネットなどを用いて気象情報の収集に努める

左ページ参照

大雨警報・注意報の発表基準

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合

水害対策・避難準備

●土のうの準備(必要であれば)

浸水の可能性があれば、必要な場所に土のうを設置する

※市では、台風・豪雨時により迅速で確実な災害対応を行うため、市内に5カ所の「土のう置場」があります。必要とする市民の方は、24時間いつでも・だれでも土のうを取りに行くことができます。



●側溝や雨水ますの清掃

側溝や雨水ますに枯れ葉やごみなどが詰まっていたら取り除いておく(浸水の原因になるため)

●避難の準備をする

- ・「非常用持出品」を再確認し、いつでも避難できるよう準備する
- ・預金通帳や印鑑などの貴重品はまとめておいて、すぐ持ち出せるようにしておく
- ・高齢者や体の不自由な方は、地域の皆で協力し、明るいうちに早めに避難できるようにする



災害発生時の避難の判断

危険が予想される場合は早めの避難を

避難を行う基準

- ① 市役所や防災関係機関等から避難指示等がでたとき
(下記警戒レベル参照)
- ② 土砂災害の前兆現象などがみられるとき
- ③ 行政区役員や自主防災組織等から避難指示がでたとき
- ④ 自宅が倒壊によって使用できないとき
- ⑤ 自主的に避難が必要だと判断した場合
- ⑥ 周辺で火災が発生し、延焼の危険があるとき

警戒レベル	状況	避難情報(市が発令)	参考となる気象情報の例 (気象庁や県が発令)	市民の皆さんがとるべき 避難行動など
5	災害発生 または切迫	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報など	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず命が危険な状況 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

〈警戒レベル4までに必ず避難!〉

4	災害の おそれ高い	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報など	危険な場所から全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況 この段階までに避難を完了しておく
3	災害の おそれあり	高齢者等避難	洪水警報 氾濫警戒情報など	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見 合わせたり、避難準備をして自主的に避難する
2	気象状況悪化	発令なし	大雨注意報 洪水注意報など	避難行動を確認 ハザードマップ等により災害リスクを再確認 避難情報の把握手段を再確認
1	今後気象状況 悪化のおそれ	発令なし	早期注意情報	災害への心構えを高める



5~10ミリ

家の中にも雨の音がよく聞こえる。地面にところどころ水たまりができる。

10~20ミリ

雨の音で話し声がよく聞こえなくなる。地面一面に水たまりができる。

20~30ミリ

土砂降り。小川や水路があふれたり、がけ崩れが起る危険がある。

30ミリ以上

洪水や土砂災害の危険が大ききところでは避難を開始する。

牛久市の災害情報や防災情報はこちらから

最新の災害情報を入手する

テレビ

テレビのリモコンにある「dボタン」を押し、一覧から選択することで気象情報や避難情報・災害情報を見ることができます。

インターネット

市ホームページトップの「緊急情報」に災害情報や避難所情報などを掲載します。



かっぱメール

市の災害などの緊急情報を配信します。※登録は右記二次元コードまたは「かっぱメール」で検索。



FMラジオ

FMうしくうれしく放送
防災無線と同じ情報を放送します。
FMラジオ周波数85.4MHz



防災行政無線

警報・注意報等の緊急情報をお知らせ。内容は市ホームページ、またはテレフォンサービスで確認できます。



茨城県防災情報メール

県から気象情報・避難関連情報等を配信。※登録は右記二次元コードまたは「茨城県防災情報メール」で検索。



☎0120-506-706

防災関連の情報を入手する

牛久市防災ハンドブック

市では「牛久市防災ハンドブック」を発行しています。非常用持出袋の準備や身の周りの安全対策など、自分の身を守る行動や、地域住民で協力して避難するなど相互協力を心がけていただき、「防災ハンドブック」を市民の皆さんの災害対策にお役立てください。

